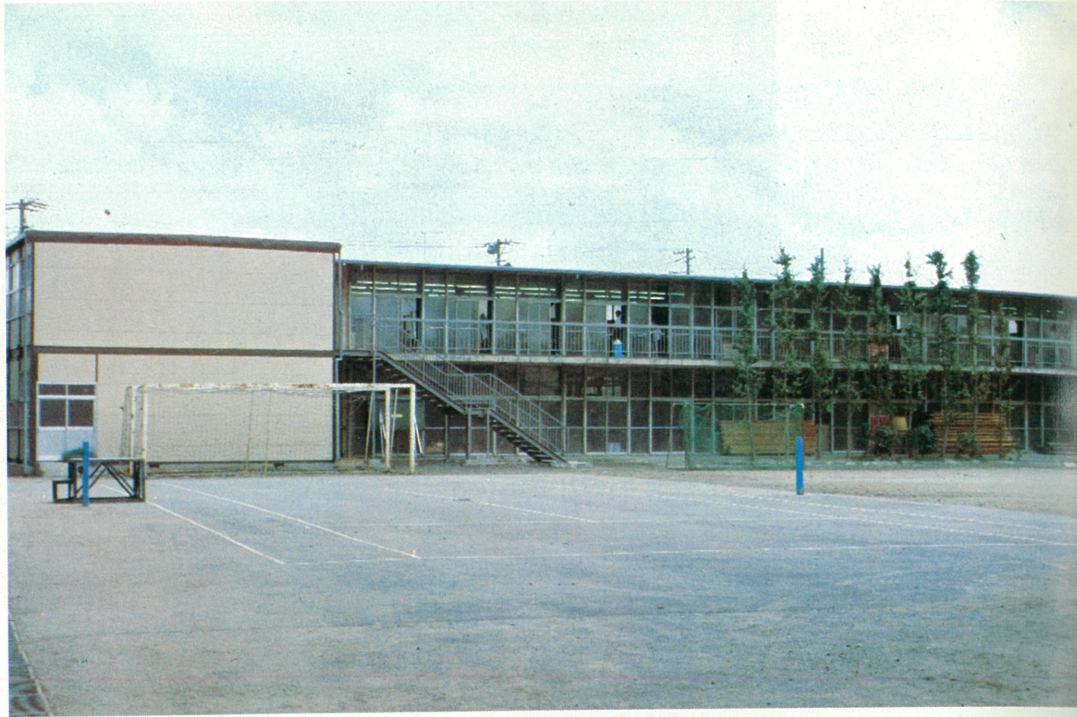


五十五年史



建築科実験実習場



校舎全景



本館玄関前



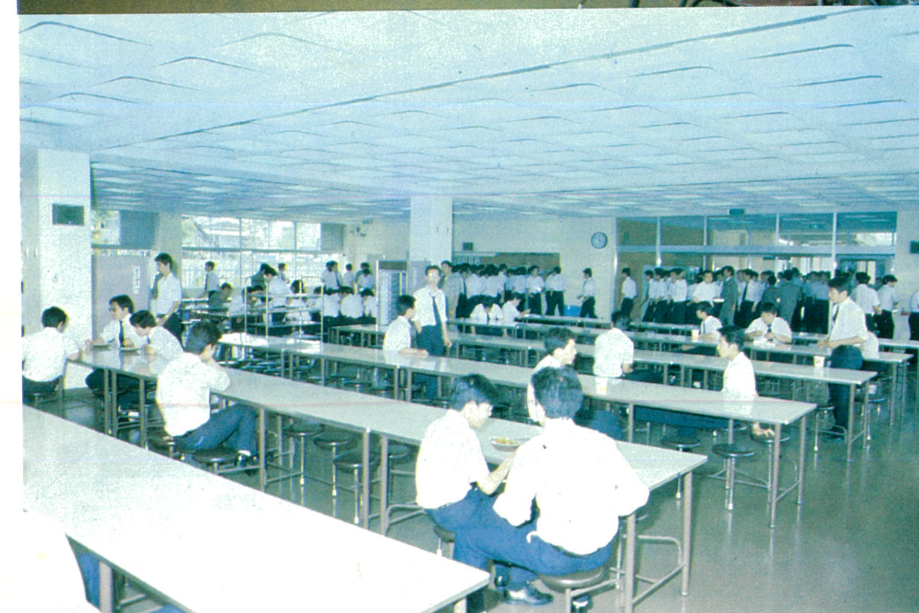
機械科総合実習館



校長室



図書館



カフェテリア内部



玄関ホール



大会議室



講堂



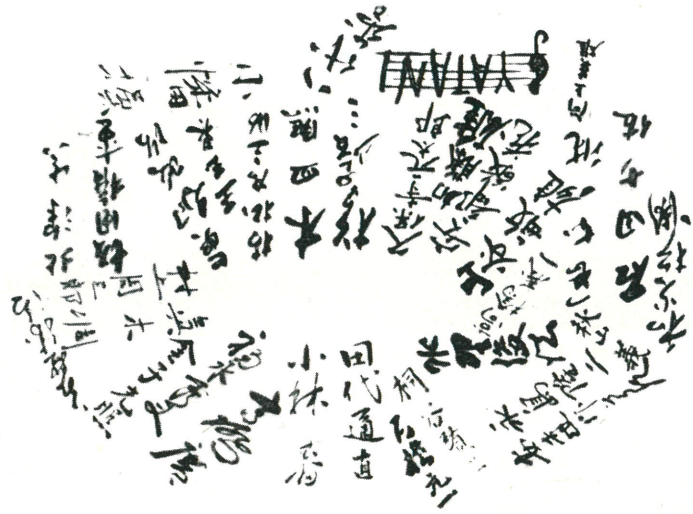
方面部バッジ



週番の報告
昭和6年



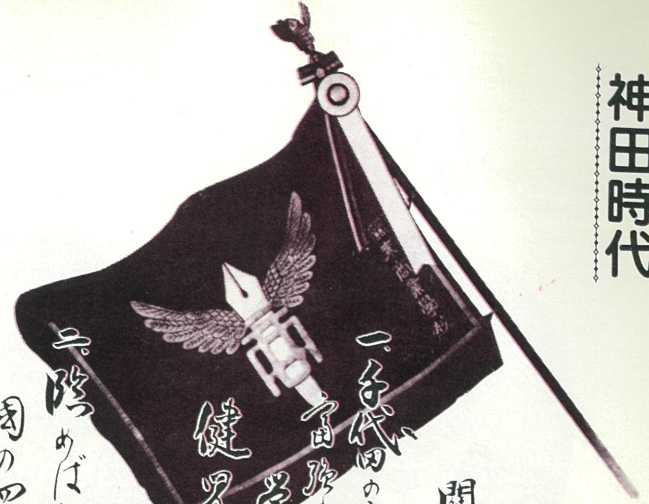
生徒登校時の敬礼



教職員によせがき
(昭和十年のアルバムより)



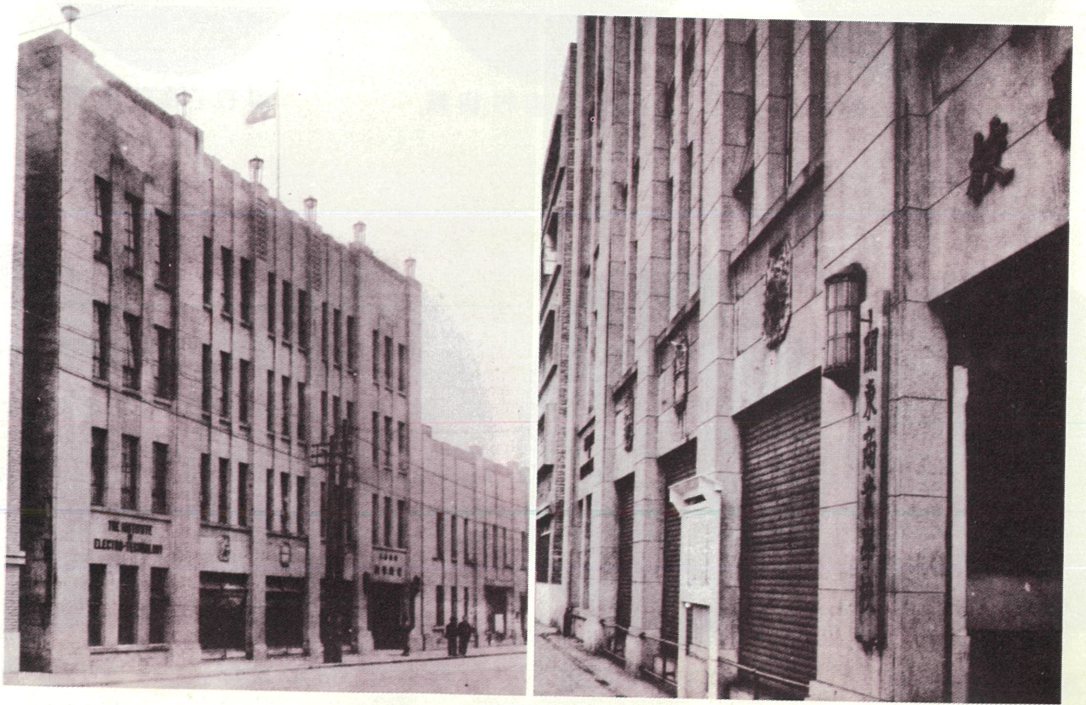
軍事教練(昭和十三年)



開東商業學校歌

一 千九百二十年の春、程近く
 富強の大任擔げんと
 学びの道よりそゝめる
 健兒の集へる搖籃は
 これぞ開東商業學校
 二 臨むは廣く五大洲
 國の四面に涯し下り
 こゝろ着海より稼ごうて
 海路の舟より果てし
 朝日は旗旗競つて
 三 仰ぎは高し富士の巖の
 秀麗翠峯を、理恵と
 商戰の場裡に業を成し
 我等の使命、果てしなく
 魁の旗をよ國のため

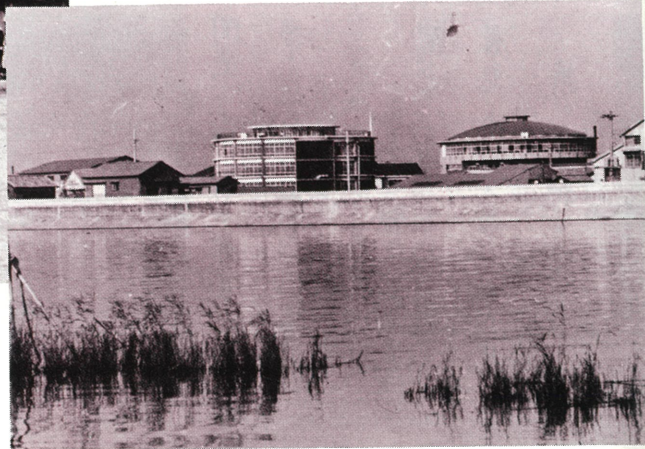
第一校歌(創立当時から昭和二十四年まで)



神田旧校舎



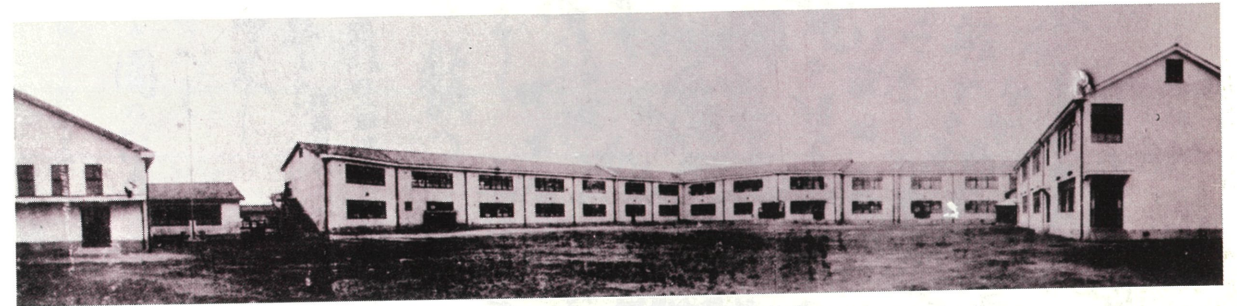
選手推戴式



昭和36年頃の校舎遠望



昭和16年頃の正門



昭和16年頃の校庭側から見た校舎

関東南高等学校歌

一 若草萌ゆる荒川の
堤のいろもいや映えて
赤きいらかのそりたら
若きいらかのあがれば
これを関東南学校

二 いづらの道は迷けれど
嵐に雲にたふさきたる
歴史もゆかべと異
理想の光ここに湧き
江東の朝あけそむる

三 仰げば空は碧なり
独立正義の肩あけて
文化をいかに着人よ
いかにいかに真理の灯
お、関東南学校

昭和三十四年頃の正門風景と第二校歌(昭和二十四年から昭和三十九年まで)



本校校旗・「戦争はこれからだ」と書いたのぼりを先頭に行進している。昭和16、7年頃から時局を反映して、軍需産業や食糧増産の為、学徒が動員されたが、その頃の写真と思われる。当時の民家の状況などが偲ばれておもしろい。(小松川橋付近)

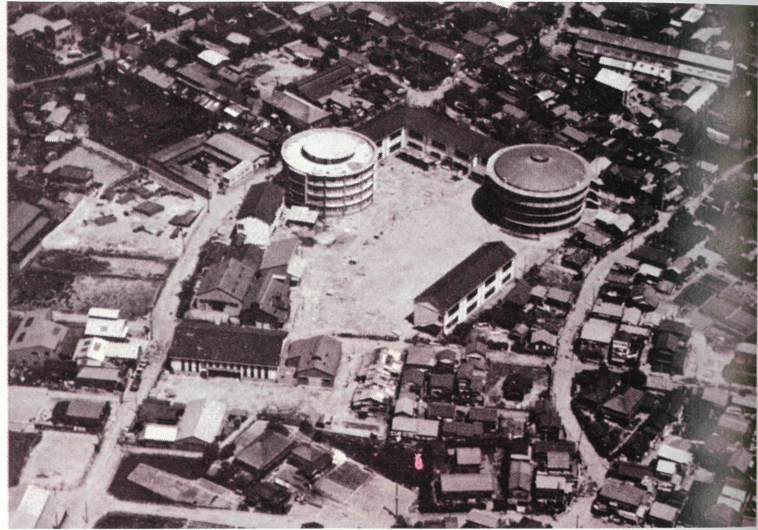


明治神宮奉拜式

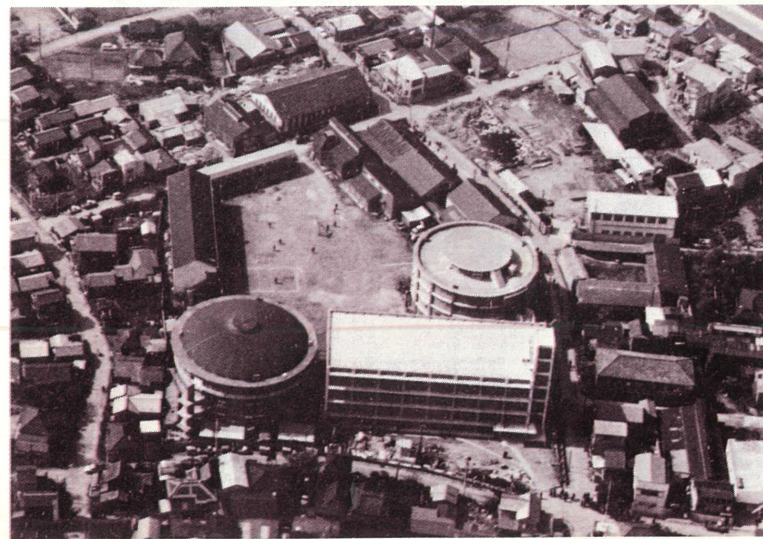


昭和三十年頃。赤いかわらの木造二階建校舎が校庭をぐるりととりまわっている。写真右上の道路一つへだてたところに講堂が見える。この建物は、後に東館が完成しその四階に講堂が付設された後は、機械科実習場として使用された。鉄筋コンクリート三階建ての現在の機械科総合実習館があるところである。付近は民家もまだ少なく、学校周辺は蓮田や畑にかまれている。木造校舎二階から総武線の電車が走る姿や新小岩駅がよく見えたというのもこの頃までのこと。

空から見た本校の移りかわり



昭和三十七年頃。東館(写真右)、西館(写真左)の二つの円形校舎が完成し、「く」の字型の木造校舎をはさんで建っている。旧講堂と西館の間には工業科実習室が雑然と密集して建ちならんでいる。また、学校周辺には蓮田がほとんどなくなり、民家もだいぶ密集してきた。



昭和三十九年頃。学校正面に鉄筋コンクリート四階建ての本館校舎(二十九年完成)が見える。写真左には旧校舎が移築され、その上の道路さわりにはクラブハウスが見える。また右側には機械科実習室の各棟が残っている。機械科総合実習館(四十四年落成)はまだ見えない。付近は民家、中小工場が密集し、授業中でも工場騒音になやまされるようになったのはこの頃からである。

現校歌

一 曉の星影うつし 洋々と
流れたはまね 荒川の
眺めも高きわが窓は
歴史ゆかしきペンと翼
関東一高 わが学園

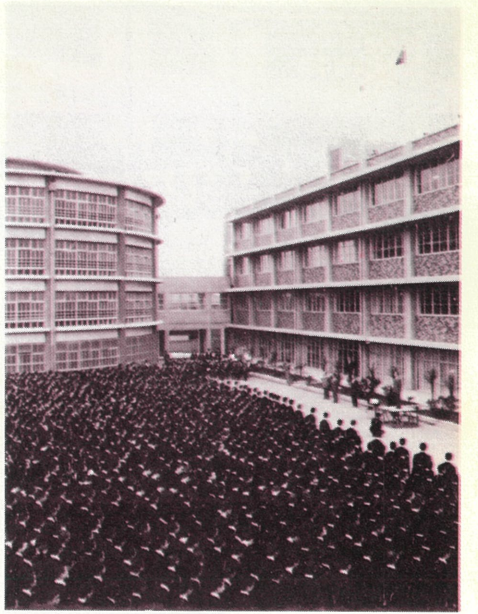
二 若く血のあふれつどい ち空に
高鳴る希望 胸に秋の
栄ゆく文化 目ざしつ
五年の勵みいそしまん
関東一高 わが学園

三 眉あげよ 純き 夢 世の光
みのりゆたけきさう腕
築かん平和とよむわに
道の茨も わりにえて
関東一高 わが学園

(昭和三十九年、創立四十周年を記念して作詞作曲された。)

校歌

増田啓策作詞
若村亮起作曲



全校朝礼



創立40年記念式典



卒業式



入学式



剣道場



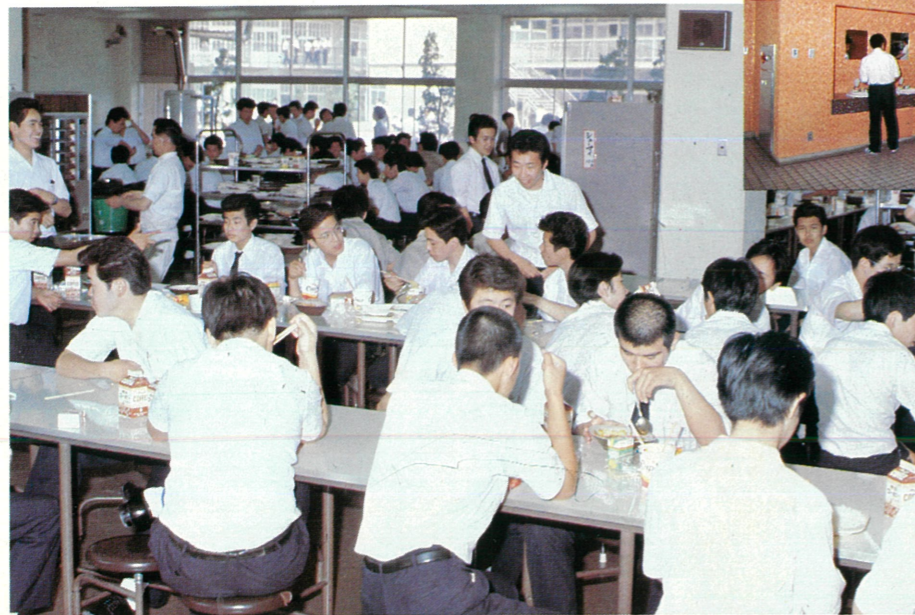
ジムナジウム



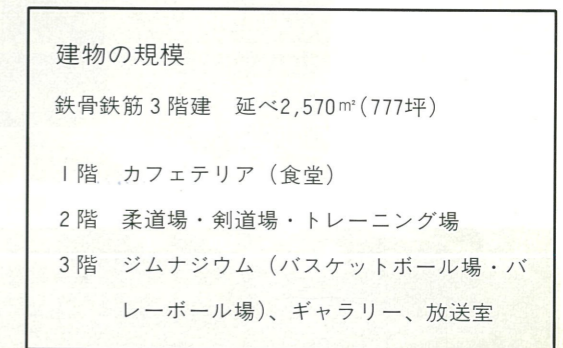
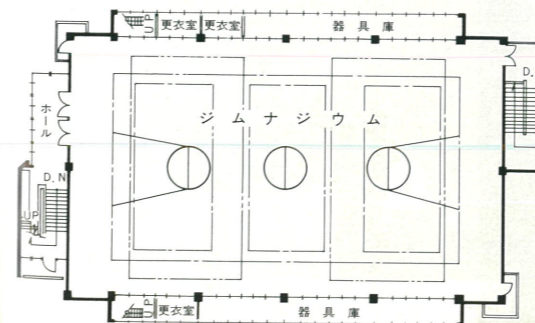
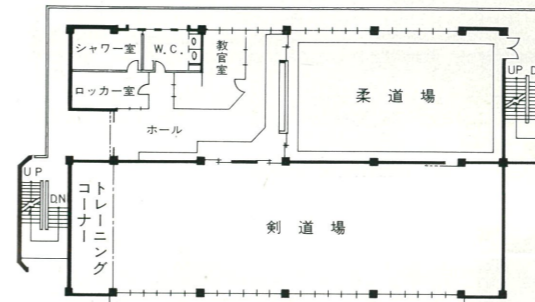
柔道場



入口洗面所



カフェテリア内部



建物の規模

鉄骨鉄筋3階建 延べ2,570㎡(777坪)

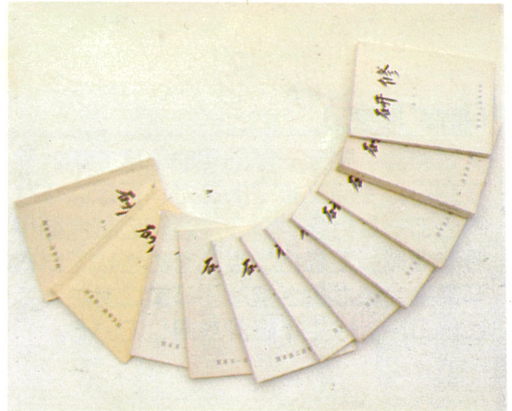
- 1階 カフェテリア(食堂)
- 2階 柔道場・剣道場・トレーニング場
- 3階 ジムナジウム(バスケットボール場・バレーボール場)、ギャラリー、放送室

学校で出している刊行物



〔記念誌〕

創立40年記念誌はグラビアページ48ページを含め、240ページの立派なものとして刊行された。40年誌はこの55年誌を編集するにあたって大変参考になった。45年記念誌は写真を中心とした84ページもの。50年記念誌は発行されていないので、本誌は50年史の意味を含めて刊行している。



〔研修〕

「研修」は昭和41年に創刊号を発行。途中、発行されなかった年もあるが、昭和53年度には第12号を発行している。職員の日ごろの研究成果発表の場として活用されている。年によって異なるが、大体、100～140ページ。



〔要覧・入学案内〕

要覧・入学案内は毎年発行。中学生が本校に入学するにあたって参考になっているものである。以前は36ページだでの分厚いものであったが、近年は16ページだでの簡便なものとしている。



〔同窓会会報〕

本号で第23号。毎年7月に同窓会総会が開催されるが、総会通知も兼ねて年一回発行。一万数千名の同窓生に郵送されている。内容は、同窓会の収支決算報告や学校の近況等で卒業生に学校の近況を伝える貴重なものとなっている。最近は大ブレイド新聞形式として発行。

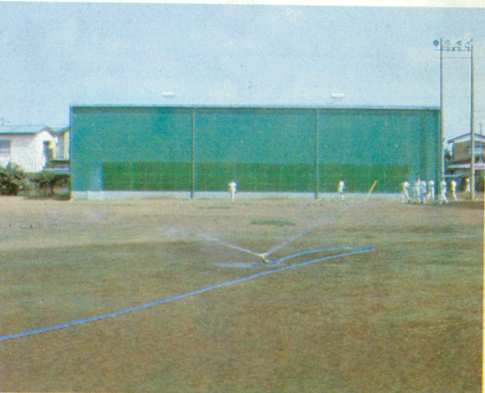


八千穂山荘



六日町スキーハウス

- 〔左下〕 白井野球グラウンド
- 〔右上〕 // 雨天練習場
- 〔右下〕 // 合宿所



第 七	第 六	第 五	第 四	第 三	第 二	第 一	(荒川区)	(今戸市)	駒形	蓬萊	忍岡	上野	竜泉	下谷	御徒町	(台東区)	西新井	青井	竹ノ塚	蒲原	淵江	
2	1	5	1	2	7	8		1	6	2	3	4	1	2	4		3	10	2	8	6	
(新宿区)	上原	(渋谷区)	堀船	岩淵	赤羽	紅葉	(北区)	(文京区)	城南	(品川区)	中央第二	中央第一	(中央区)	【その他の 東京都内】	尾久八幡	尾竹橋	道灌山	尾竹橋	尾竹橋	第 十	第 九	
1	1	1	1	1	2	8	1	3	1	1					4	1	3	2	8			
(第五区)	第八	第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一	(市川市)	【千葉県】	第三	(東村山市)	第二	(小平市)	開進第一	北町	(練馬区)	(東武市田)	(杉並区)	第 五	(中野区)	四谷第一
16	16	11	4	4	16	17	14		2	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(千葉日大一)	七濑林	行田	三田	高根	古和釜	金杉台	若川松	習志野台	高根台	前原	豊富	三宮	御滝	法田	葛飾	海神	宮本	船橋	(船橋市)	市川学園		
1	5	9	11	16	3	9	2	6	4	12	6	2	12	14	15	13	9	8	21	1	1	
(第六区)	第五	第四	第三	第二	第一	(松戸市)	村上東	八千代西	高津	大田	勝台	阿蘇	八千代	(八千代市)	第 四	第 三	第 二	第 一	(習志野市)			
10	11	3	15	11	3		1	2	9	11	4	8	4	4	5	4	18	12				

〃 第三	〃 第二	小岩 第一	篠崎 第二	篠崎	鹿本 第三	葛西 第二	葛西 第六	〃 第五	〃 第四	〃 第三	〃 第二	松江 第一	〃 第三	〃 第二	小松川 第一	(江戸川区)	中学校名	生徒数	【東京都】
20	9	10	13	22	16	26	21	23	11	27	39	16	22	54	20	16	12		
双葉	堀切	桜道	中川	上井	綾瀬	奥戸	新宿	水元	東金町	金町	本町	(葛飾区)	春江	瑞江	瑞江	上色	〃 第五	〃 第四	
9	9	11	10	23	6	18	9	11	5	5	14		2	34	27	17	34	10	5
亀戸	〃 第八	〃 第七	〃 第六	〃 第五	〃 第四	深川 第三	(江東区)	葛美	東柴	高砂	青葉	青戸	一之台	常盤	立石	亀有	小松	四ツ木	大田
10	4	2	2	5	11	1		2	2	16	17	7	7	5	7	2	8	12	7
寺島	曳舟	〃 第三	〃 第二	吾嬬 第一	錦糸	堅川	両国	本所	墨田	(墨田区)	第四砂町	第三砂町	第二砂町	砂大島	第三大島	第二大島	大島	第三亀戸	第二亀戸
17	7	9	5	11	8	17	2	2	3		5	12	19	14	10	9	11	7	5
東島根	花畑	東瀬	新田	第十	第十	第十	第十	第十	第十	第十	第九	第八	第七	第六	第三	第二	(足立区)	鐘淵	向島
2	6	7	1	2	6	5	4	7	14	11	16	4	10	6	1	2		9	6

在校生の出身中学校別一覧

(昭和五十四年六月調査)

港 区	新 宿 区	中 央 区	文 京 区	北 区	台 東 区	荒 川 区	足 立 区	墨 田 区	江 東 区	葛 飾 区	江 戸 川 区
一	三	二	二	二	一四	一九	一三四	八三	一四四	二二七	三六五
生徒総数 一、六九三名 (昭和五十一年六月現在)	その他の千葉県内 市(八) 七四	千葉市 市(九) 七二	習志野・八千代市 市(六) 六二	柏市 市(四) 四〇	松戸市 市(九) 九三	船橋谷市 市(一) 一五六	市川(浦安)市 市(一) 一二九	茨城県 市(二) 二五	神奈川 県(三) 三	埼玉 県(八) 八二	その他の都区内 市(四) 四

昭和四十九年度

(昭和四十九年七月現在)

生徒居住地の変遷

昭和五十年年度

(昭和五十年六月現在)

江 戸 川 区	葛 飾 区	江 東 区	墨 田 区	足 立 区	荒 川 区	台 東 区	北 区	文 京 区	中 央 区	新 宿 区	港 区	その他の都区内 市(五) 七
三九二	二四五	一四四	八八	一四五	二四	一五	一	一五六	一四三	一三四	二三八〇	四七一
市川(浦安)市	船橋・鎌谷市	松戸・流山市	柏市	習志野・八千代市	佐倉市	千葉市	その他の千葉県内 市(一) 一	草加・越谷市	三郷・八潮市	その他の埼玉県内 市(三) 三	茨城県 市(九) 九	神奈川 県(八) 八

生徒総数 一、八三三名
(昭和五十一年六月現在)

小 金 南	小 金 北	常 盤 平	栗 ヶ 沢	六 ヶ 実	吉 ヶ 崎	牧 野 原	(柏市)	柏 第 二	柏 第 四	富 勢	光 ヶ 丘	南 部	(野田市)	第 一	福 田	(流山市)	南 部	(我孫子市)	我 孫 子		
5	1	4	4	7	14	3	6	4	1	1	5	2	4	1	2	1	8	2	2		
鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市	第 三	第 二	(佐倉市)	志 津	上 志 津	東葛飾郡 (浦安町)	浦 安	堀 江	(沼南町)	風 早	印 幡 郡	(白井町)	白 井	(成田市)	成 田	中 台	(市原市)	市 東		
14	23	2	3	1	1	3	2	10	1	5	4	9	4	6	3	1	1	1	1		
(埼玉県)	(埼玉県)	草 加	草 加	谷 塚	川 柳	瀬 崎	花 栗	中 央	越 谷 東	越 谷 南	越 谷 北	富 士	米 進	光 陽	平 方	(八潮市)	八 潮 第 二	八 潮 第 三	八 潮 第 四		
11	6	4	5	4	4	8	2	7	8	8	1	2	1	2	2	15	14	17	7	5	
(三郷市)	(三郷市)	三 郷 北	三 郷 南	三 郷 南	三 郷 北	彦 成	北葛飾郡 (吉川町)	吉 川 東	吉 川 南	(鳩ヶ谷市)	鳩 ヶ 谷	(朝霞市)	朝 霞 第 四	(狭山市)	入 間	(神奈川県)	(横浜市)	洋 光 台	岩 崎	市 川	
11	6	6	11	11	11	6	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(新潟県)	(新潟県)	関 屋	関 屋	関 屋	関 屋	当 仁	(宮城県)	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城	多 賀 城
10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

昭和五十一年度

江戸川区	葛飾区	江東区	墨田区	足立区	荒川区	台東区	北区	文京区	新宿区	その他の都区内
四三〇	二五一	一四七	九五	一五七	二四	二〇	三	四	三	八
市川(浦安)市	船橋・鎌ガ谷市	松戸・流山市	柏・我孫子市	習志野・八千代市	佐倉市	千葉市	その他の千葉県内	草加・越谷市	三郷・八潮市	その他の埼玉県内
一一八	一八八	八〇	四一	九八	一七	七六	二五	四三	五八	七

(昭和五十一年六月現在)

昭和五十二年度

江戸川区	葛飾区	江東区	墨田区	足立区	荒川区	台東区	北区	文京区	その他の都区内	市川(浦安)市
四九一	二三八	一三四	九四	一五六	二九	二一	四	二	二二	一一三
船橋・鎌ガ谷市	松戸・流山市	柏・我孫子市	習志野・八千代市	佐倉市	千葉市	その他の千葉県内	草加・越谷市	三郷・八潮市	その他の埼玉県内	神奈川県
一一一	八三	三五	九七	一三	七五	二〇	四一	五二	四	一

(昭和五十二年六月現在)

生徒総数 一、八九三名

生徒総数 一、八九六名

昭和五十三年度

江戸川区	葛飾区	江東区	墨田区	足立区	荒川区	台東区	北区	文京区	その他の都区内	市川(浦安)市
五一九	一三三	一四七	一〇五	一五〇	三五	二三	八	三	一六	一一三
船橋・鎌ガ谷市	松戸・流山市	柏・我孫子市	習志野・八千代市	佐倉市	千葉市	その他の千葉県内	草加・越谷市	三郷・八潮市	その他の埼玉県内	神奈川県
一九七	八一	二二	八四	九	五六	一九	四〇	七五	六	一

(昭和五十三年六月現在)

昭和五十四年度

江戸川区	葛飾区	江東区	墨田区	足立区	荒川区	台東区	北区	文京区	その他の都区内	市川(浦安)市
五〇九	二二九	一二四	八六	一二三	三四	一八	五	二	一七	一一八
船橋・鎌ガ谷市	松戸・流山市	柏・我孫子市	習志野・八千代市	佐倉市	千葉市	その他の千葉県内	草加・越谷市	三郷・八潮市	その他の埼玉県内	神奈川県
二一〇	九三	二三	九四	九	四六	一五	六三	八五	六	一

(昭和五十四年六月現在)

生徒総数 一、九四一名

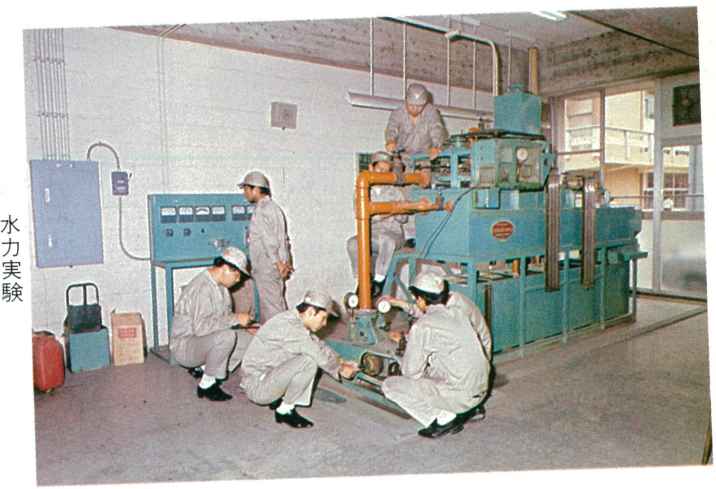
生徒総数 一、九〇〇名

機械科

工業計測実習



溶接実習



水力実験



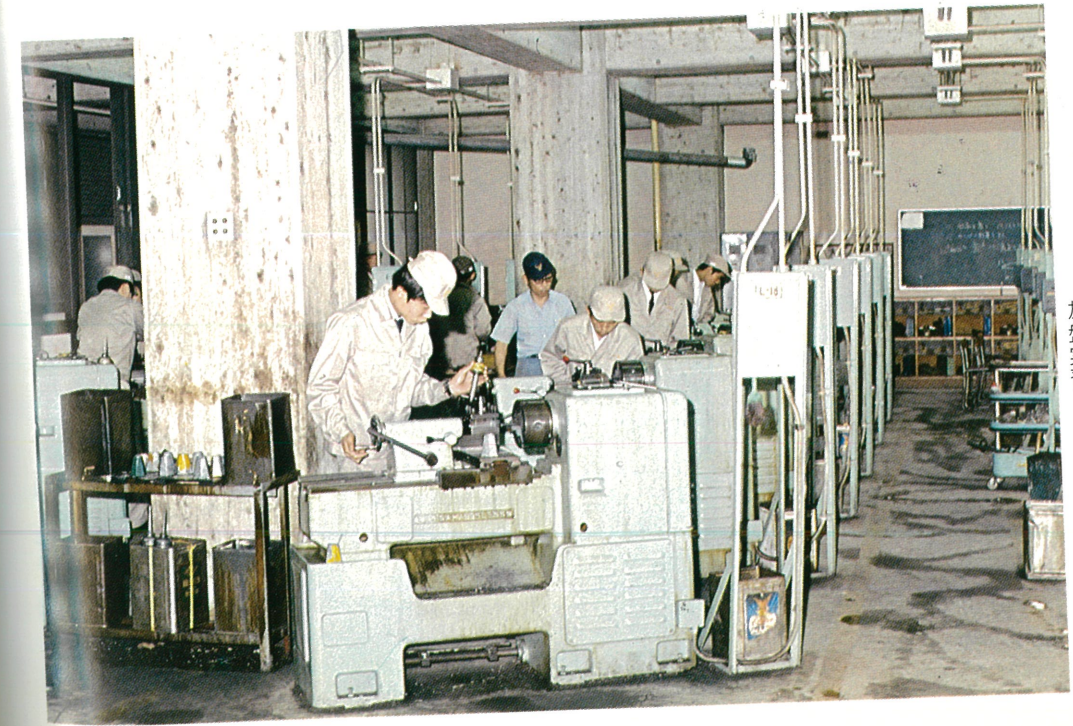
木型実習



鍛造実習



鑄造実習



旋盤実習



仕上げ実習



材料実験



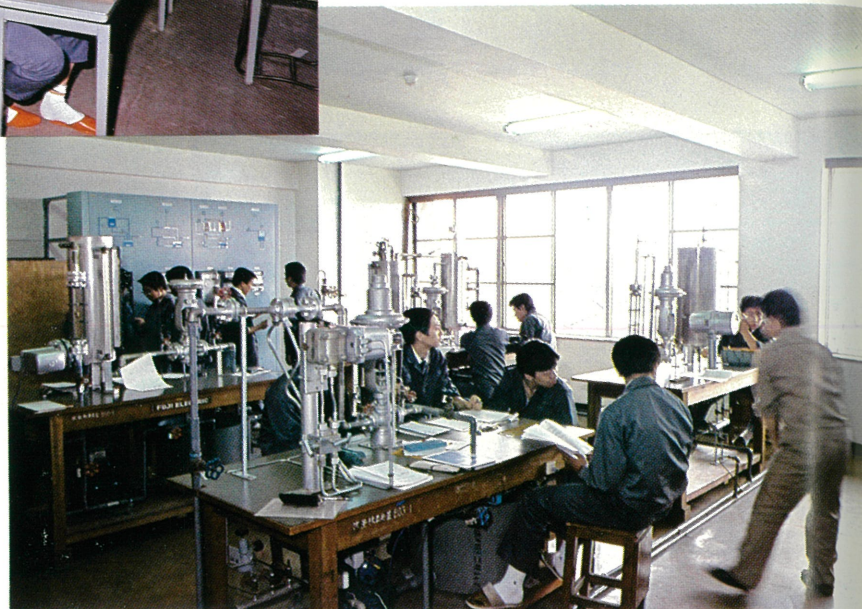
フライス盤実習



電気工事士実習



ガラス工芸(細工)



自動制御実習



電子工学実習



プラクティクス (電気工学 I)



コンピューター実習



電験



テレビ製作

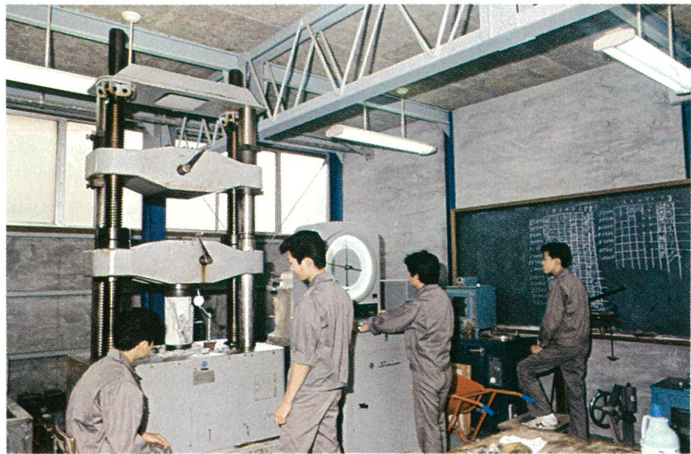
建築科



木材加工



建築模型(生徒作品)



コンクリート強度試験



機械加工



モルタル強度試験



建築設計製図



建築デザイン製図

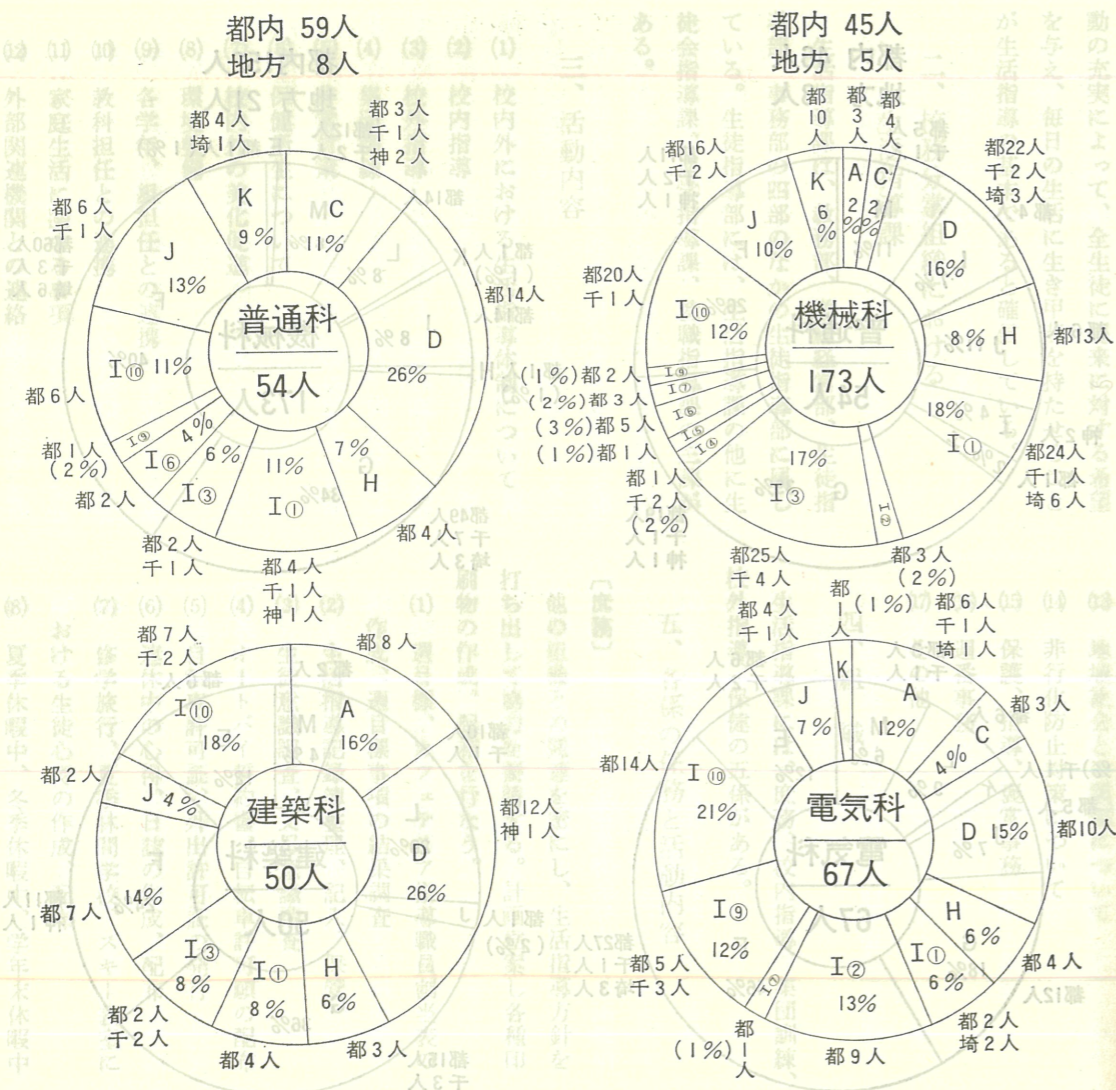


測量実習

各科職業別就職者数

職業別	A	C	D	E	F	G	H	I・技能工・生産工程作業者										J	K
	専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	農林作業業者	漁業作業業者	採鉱・採石作業業者	運輸・通信従業者	①金属材料製造・金属加工	②電気機械器具組立・修理	③輸送機械組立・修理	④計器・光学機械組立・修理器具	⑤製糸・紡績・裁断・縫製	⑥飲食料品製造	⑦化学製品製造	⑧機械運転作業	⑨電気作業	⑩その他	保安職業従事者	サービス職業従事者

生活指導 (自家従事者を除く)



3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	
(7) 学年末の諸整理 (1) 次年度職業指導作成	(7) 就職実状調査 (1) 統計の作成 (7) 進路変更者への相談	(7) 受験報告の収集と整理 (1) 就職先へ学年末学校行事予定の報告	(7) 就職未定者の相談 (1) 就職内定者の心構え	(7) 職業斡旋・相談・開拓	(7) 職業斡旋・相談・開拓	(7) 職業相談 (1) 出願指導と各種書類のとりまとめ (7) 面接指導	(7) 職業相談 (1) 求人開拓 (7) 受付開始 (7) 就職志望の再検討と確認	(7) 職業相談 (1) 求人開拓 (7) 受付開始 (7) 就職志望の再検討と確認	(7) 生徒斡旋に関する諸記録整備 (1) 職業安定所よりの職業講話 (7) 父母面談	(7) 過年度求人関係資料検討 (1) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査	(7) 過年度求人関係資料検討 (1) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(1) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(2) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(3) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(4) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(5) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(6) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(7) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(8) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(9) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(10) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(11) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(12) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(13) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(14) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(15) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(16) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(17) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(18) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(19) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(20) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(21) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(22) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(23) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(24) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(25) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(26) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(27) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(28) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(29) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(30) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(31) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(32) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(33) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(34) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(35) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(36) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(37) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(38) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(39) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(40) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(41) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(42) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(43) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(44) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(45) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(46) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(47) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(48) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(49) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(50) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(51) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(52) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(53) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(54) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(55) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(56) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(57) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(58) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(59) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(60) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(61) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(62) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(63) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(64) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(65) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(66) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(67) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(68) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(69) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(70) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(71) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(72) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(73) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(74) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(75) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(76) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(77) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(78) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(79) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(80) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(81) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(82) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(83) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(84) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(85) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(86) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(87) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(88) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(89) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(90) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(91) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(92) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(93) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(94) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(95) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(96) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(97) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

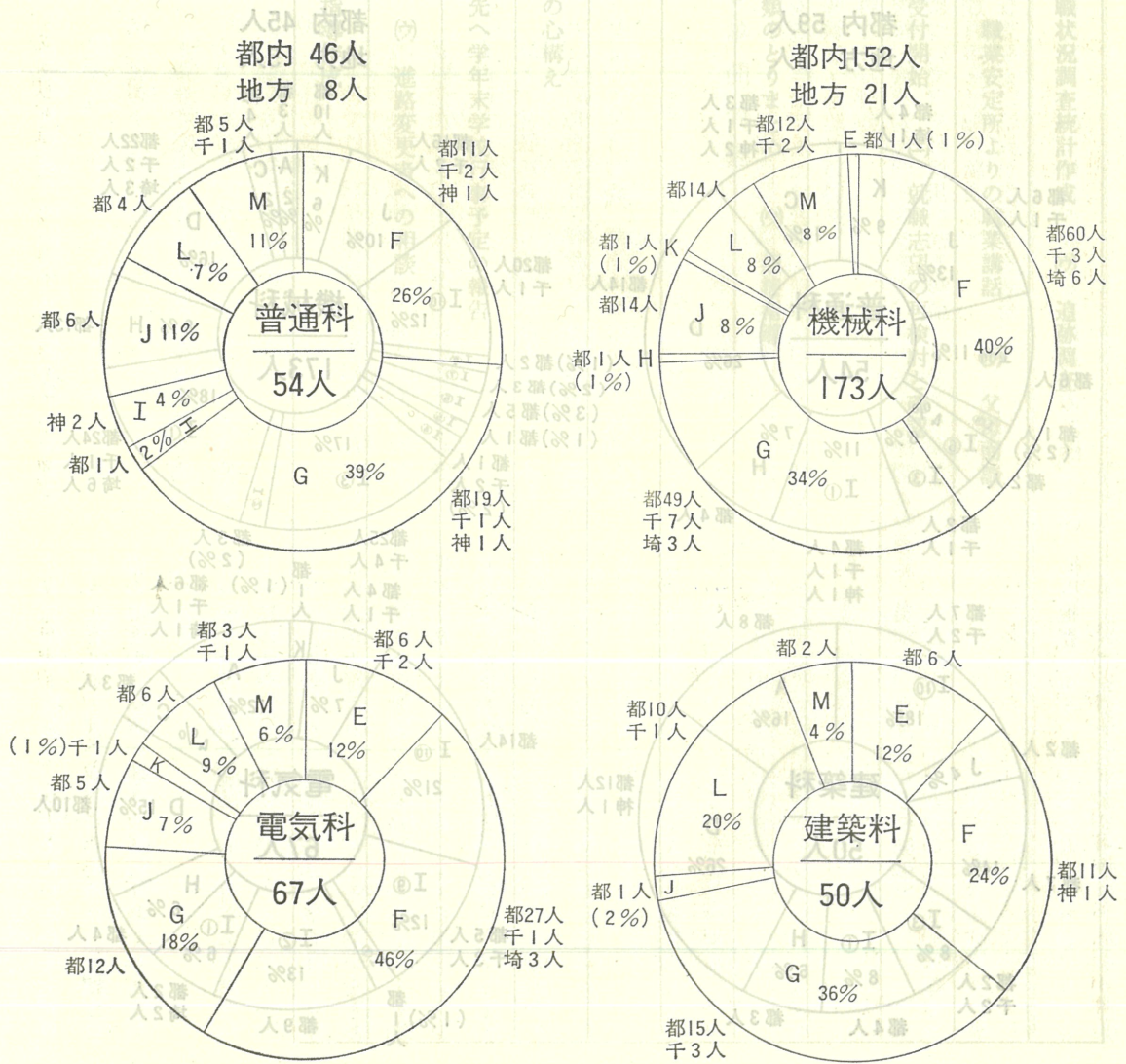
(98) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(99) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

(100) 就職状況調査統計作成 (7) 追跡調査

昭和53年度実績 (昭和54年3月1日現在)
各科産業別就職者数

産業別	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
産 業 別	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設	製 造	御 売 小 売	金 融 保 險	不 動 産	運 輸 通 信	電 気 ガ ス 水 道 熱	サ ー ビ ス	公 務



生活指導

一、本校の生活指導における基本的な考え方

本校の生活指導の根本をなすのは、定められた服装、校則を徹底して守らせることにより、将来社会人として、社会の規律を遵守することができる豊かな人格形成を目標としていることである。現在社会的問題とさえなっている、青少年特に高校生の非行化に対して、本校としては学校内ばかりでなく地域ぐるみの非行化防止対策を打ち出しており、他の諸機関との連携は勿論のこと本校後援会の校外指導委員会との密接な連携により、父母の協力を得た学校と家庭が一丸となつての生徒指導に重点をおいている。もう一つの生活指導の重要な考え方としては、学習指導による生活指導の徹底である。ここ数年來、各学校で頭を悩ましている授業についていけない落ちこぼれ生徒をなくすための授業方法の研究、個々の生徒に合った、飽きさせない学習指導の充実こそが生徒の非行化防止に大きく貢献するものと信じている。本校の学習指導はこの考えに沿ってなされ、各科毎の研究が常に行なわれている。この学習指導法と生徒会活

動の充実によって、全生徒に将来に対する希望を与え、毎日の生活に生き甲斐を持たせることが生活指導の基本であると確信している。

二、校務分掌組織における生活指導課

生活指導課は、教務部、学級経営部、生徒指導部、事務部の四部のなかの生徒指導部に属している。生徒指導部には、生活指導課の他に生徒会指導課、進学指導課、就職指導課の三課がある。

三、活動内容

- (1) 校内外における生活指導体制について
- (2) 校内指導
- (3) 校外指導
- (4) 集団訓練
- (5) 非常対策
- (6) 保健衛生について
- (7) 校内外の美化促進
- (8) 環境整備
- (9) 各学年、組担任との連携
- (10) 教科担任との連携
- (11) 家庭生活に関する事項
- (12) 外部関連機関との連絡

四、組織

生活指導課には、庶務、校内指導、集団訓練、校外指導、保健の五係がある。

五、各係の任務と活動内容

- 〔庶務〕
- (1) 週目標、カフェテリア指導職員割当表の作成、週目標事項の結果調査
 - (2) 生活指導記録簿整理、記入、保管
 - (3) 生徒意識調査、父母意識調査
 - (4) オートバイ誓約書、自転車許可願の配布
 - (5) 自転車許可証、外出許可証の発行
 - (6) 連休中の心得、日誌の作成、配布
 - (7) 修学旅行、夏季林間学校、スキー教室における生徒心得の作成、配布
 - (8) 夏季休暇中、冬季休暇中、学年末休暇中



新宿高にサヨナラ勝ち



大応援旗のもと、声援を送る在校生



チャンスに立ち上がって熱狂する父母



力投する永井投手

写真は54年夏2回
戦対都両国戦，準
準決勝対都新宿高
戦より



田村，決勝打を放つ



試合終了の挨拶

クラブ活動

練習中の野球部員



野球部グラウンド・合宿所
所在地
千葉県印旛郡白井町富士字南園二一六

「本校生徒の制服姿」

① 朝の余裕がある場合はこの期に於いて、制服の着替えは必ず行うこと。

② 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

③ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

④ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑤ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑥ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑦ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑧ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑨ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑩ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑪ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑫ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑬ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑭ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑮ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑯ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑰ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑱ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑲ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑳ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉑ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉒ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉓ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉔ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉕ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉖ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉗ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉘ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉙ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉚ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉛ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉜ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉝ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉞ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉟ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊱ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊲ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊳ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊴ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊵ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊶ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊷ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊸ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊹ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊺ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊻ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊼ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊽ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊾ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊿ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

黒または褐色の革製
(派手な型は認めない)

黒紐つき短靴

常に短く調え、襟まで伸ばさない(パーマネット、アイパー)はかけないこと(また毛は染めないこと)

① 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

② 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

③ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

④ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑤ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑥ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑦ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑧ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑨ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑩ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑪ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑫ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑬ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑭ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑮ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑯ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑰ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑱ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

⑲ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

⑳ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉑ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉒ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉓ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉔ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉕ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉖ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉗ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉘ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉙ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉚ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉛ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉜ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉝ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㉞ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㉟ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊱ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊲ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊳ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊴ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊵ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊶ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊷ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊸ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊹ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊺ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊻ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊼ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊽ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。

㊾ 朝の余裕がある場合は、制服を着替えること。

㊿ 食事の時は必ず着替えを済ませ、清潔な服装で行くこと。



大沢師範(七段)の指導, 剣道部



飛躍が望めるバレーボール部



人気のあるテニス部



練習中のバスケットボール部



校庭で練習中の陸上競技部



みごとに一本! 柔道部



気合いが入る拳正道部



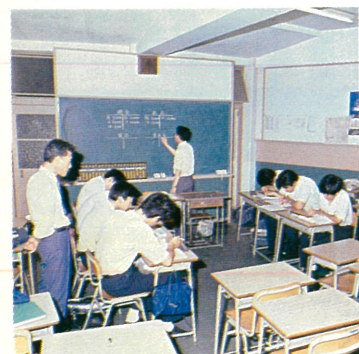
入賞をめざせ! バドミントン部



ゴールをめざせ! サッカー部



関東大会へ出場のスキー部(大回転)



経理マン養成の商業実務部



囲碁部(都大会で)



勉強に励む英語部



部室で練習中の吹奏楽部(54年東京都コンクールで優勝)



愛される学校新聞づくり, 伝統ある新聞部



会津若松合宿より



本校相撲道場での稽古風景



会津若松城観光記念



全国大会へ連続出場の卓球部 (51年 富山 53年 山形 52年 鳥取 54年 大阪)



試合前の挨拶(52年関東大会)



ダブルス(梶田・小林組) 大阪



団体ダブルス(鈴木・大沢組) 富山



全国大会出場(富山)

生徒会・クラブ活動

最近の生徒会と

クラブ活動の現況

一、生徒会の現況

昭和四十九年度 生徒会が主体になる学校行事をより上げようとの考えで、対面式、球技大会、文化祭、予餞会等々一般生徒の協力を求め、積極的に各行事に努力してきた。特に文化祭では各科の特色を生かそうと努力した結果評判も非常に良かったのである。(会長・菅原良和)

昭和五十年年度

投票箱の設置を行なった。一般の生徒は生徒会に何を希望しているのか、一般生徒達の声を聞いて、それを学園生活に反映させようと、生徒のための生徒会をアピール、生徒の希望としてベストの着用、昼食時の混雑の緩和等々校長先生との話し合いをした。ベストの着用は認められなかったが、その他は少しずつ解決するなど前進がみられた。(会長・立原司朗)

昭和五十一年年度

さらに一般生徒の声を聞き、生徒のための生徒会に作り変えたのが吉田会長である。また学校行事では五十年より文化祭を「霜月祭」と命名して二年目を迎え、これを成功させた。なお各種バザーの収益金で校庭に記念植樹、緑が多くなったのもこの年であった。(会長・吉田彰才)

昭和五十二年年度

高橋会長は、高校生活のなかで学校行事への参加のあり方や目的、意識のとらえ方、また集団生活のあり方や、協力の精神などに関心が薄いことは、一般生徒自身の無関心、無責任にある、と評議員に呼びかけ、生徒一人一人が自主的に生徒会活動に参加するよう、また生徒会役員もみずから活動計画を作り生徒活動を積極的に協力が出るよう改善した。(会長・高橋裕二)

昭和五十三年年度

高橋会長の後を引き継ぎ、玉井会長は本校の生徒は自主性に欠けると評議員会で呼びかけた。これは今日まで先生の方から一方的に作成した計画を生徒に示して、これでやれ、というようなやり方は、たとえ生徒側の要望を実質的に相当取り入れているものであっても、生徒は

「上から押しつけられた」と考えがちであるので生徒の自主性がなくなるのではないかと、玉井会長は計画を立て、みずから自主的に活動を続け、一般生徒にも協力を求めた。生徒会活動にとって生徒自体で活動計画を作る、これが全体生徒の生徒会活動参加の自覚を促す重要な契機となった。(会長・玉井利昌)

昭和五十四年度

今年創立五十五周年の年に当り、記念行事等を成功させようと自主的に生徒会役員に立候補した役員ばかりです。特に五十三年度玉井会長の力となった坂田勝美副会長、書記の鈴木正雄、会計の樋口修身の三名は二年連続の役員で遠山会長を中心に自主的、また積極的に生徒活動、学校行事への参加に活動を始めた。生徒会のおもな活動計画、内容は次の通りである。昭和五十四年度予算、決算。生徒会本部役員会。評議員会各部員会議。各委員会。クラブ紹介。対外行事参加。各部の励励会。年間活動記録。新役員選挙。対面式。球技大会。体育祭。霜月祭。予餞会。

二、クラブ活動の現況

文化系十一部会。英語部、写真部、理科部、新聞部、吹奏楽部、美術部、インターアクトクラブ、数学部、ユネスホステル部、社会研究部、

武闘 玉城 古橋 勝彦
 応援部 東京

野球部の活躍とともに十年ぶりに昭和五十一年の秋応援部を再発足。当時週番部長の作山君以下が即席応援部長となり神宮球場で大活躍をして今日に至っている。幸い応援組織も出来上り、「押忍」の精神を十分に発揮し、今では学校の名物となっている。(部員数 二十一名)

部長 芝田 稔久
 顧問 林 小正 寺向井 武夫
 囲碁同好会

昭和四十七年、碁のできる生徒が仲間を教えていたのがきっかけで囲碁同好会ができた。しかし同好の生徒が集まらないのでクラブらしい活動はみられなかった。昭和五十二年、高等学校囲碁連盟設立とともに春秋の大会が行なわれ本校も参加するようになってから、本格的にクラブ活動が動きはじめ、現在水、土曜日に練習を行なっている。大会出場前になると研究にも熱が入ってくる。

昭和五十三年、五十四年に出場した試合には下級のクラスながら毎回全員勝越している。

昭和五十四年五月五日の東京都高等学校囲碁

連盟の春季大会にはチーム成績十勝二敗で六十二チーム中第三位に入賞した。

本校には教職員の囲碁愛好家が多く日本棋院支部も結成されており指導者には恵まれているのだが生徒達には碁碁をむずかしいものとして敬遠する傾向があるので部員がなかなか集まらないことが悩みである。

対外試合の成績

○第二回全国高校囲碁選手権東京大会(認定大会之部)

昭和五十三年六月十一日(日本棋院で)

三 坂田 勝美 二勝二敗
 三 坂田 誠一 三勝一敗
 三 佐藤 浩之 二勝二敗

○東京都高校囲碁連盟五十三年秋季大会

昭和五十三年十一月十九日

三 佐藤 浩之 二勝二敗
 三 坂田 誠一 三勝一敗
 三 坂田 勝美 二勝二敗

団体戦 第九位(八勝四敗)

○東京都高校囲碁連盟五十四年度春季大会

昭和五十四年五月五日(日本棋院で)

二 団体戦 第三位に入賞、表彰を受ける

三 坂田 誠一(十勝二敗)(六十二チーム)

三 坂田 勝美(七十二チーム)

○第三回全国高校囲碁選手権東京大会(認定大会之部)

昭和五十四年六月十日(日本棋院で)

三 坂田 誠一 四勝〇敗
 三 坂田 勝美 三勝一敗
 三 坂田 誠一 三勝一敗

顧問 柴沼 睦明 二勝二敗(内容による)

顧問 長 新山 誠一(部員数 十名)

顧問 石原 義雄 増沢 国男
 顧問 杉山 茂 山口 道夫

商業実務同好会

五十年の歴史を誇った商業科の簿記部・珠算部が商業科の廃止と共に廃部となり、代りに普通科の生徒を対象に誕生したのが、商業実務同好会である。

現在、同好会員は二年生の八名だけで、商業科時代の隆盛期からみると残念な状況であるが会員は少数ながら週二回を簿記と珠算に分けて真剣に活動している。目標は簿記・珠算ともに三級合格におき、有利な就職が期待できようである。

今後、会員数をふやして内容的にもより一層の充実を計るべく、元商業科の先生方が四名も顧問となつて、指導体制も完璧である。

部長 八木 一行 (部員数 八名)

顧問 山岸 徹 高橋 善記
 顧問 島村 栄一 清水 保洋

林間学校

毎年一年生が本校の林間施設(八千穂山荘)を利用して夏期休暇中に二泊三日で実施。八千穂山荘は海拔一、一メートルの八ヶ岳山麓にあります。大自然の中で汗を流し、都会では得られない貴重な体験をしています。



山道を登る



なれない手つきで飯ごう炊さん



林間で食事

施設前で朝の体操



食堂で朝食



ハイキングへ出発



八千穂山荘(収容人員120名)
 所在地 長野県南佐久郡八千穂村松井



林間学校・日程

第一日 千駄ヶ谷駅前出発(専用バス利用)―首都高速・中央高速道路―勝沼―甲府―韮崎―清里―八千穂山荘

第二日 体操・施設出発―ハイキング(二周十六キロ林間コース)

八千穂山荘午後出発―清里―韮崎―甲府―勝沼―中央高速―首都高速道路―千駄ヶ谷駅前解散

毎年春、二年生が各科別に実施しています。(四泊五日)



電気科

(陸中海岸・十和田方面)



(日程)

- 第1日 上野-盛岡=宮古国民休暇村
- 第2日 宮古国民休暇村=浄土ガ浜~真崎=鶴の巢断崖=竜泉洞=黒崎燈台
- 第3日 黒崎=北山崎海岸=八戸=石ヶ戸...奥入瀬溪谷遊歩(銚子大滝)...子ノ口=鉛山
- 第4日 鉛山=観湖台=子ノ口~十和田湖畔・休屋(十和田神社・乙女の像)=発荷峠=十和田南=地獄めぐり=八幡平温泉
- 第5日 八幡平=松川地熱発電所=茨木(啄木記念館)=盛岡-上野



普通科

(北陸・高山方面)

(日程)

- 第1日 東京-米原-福井=永平寺=東尋坊(船)=吉崎
- 第2日 吉崎=寺井九谷焼=金沢(市内自由見学)=千里浜ドライブウェイ=羽咋
- 第3日 羽咋=妙成寺=能登金剛=輪島=上時国家=和倉温泉
- 第4日 和倉温泉=富山=高山(飛騨民俗村自由見学)=高山
- 第5日 高山(朝市見学)=明治村=名古屋-東京



(日程)

- 第1日 東京-京都=醍醐=宇治=万福寺=奈良
- 第2日 奈良=奈良歴史教室=唐招提寺=薬師寺=法隆寺=吉野山
- 第3日 吉野山(吉水神社・如意輪寺・蔵王堂)=飛鳥(サイクリング等自由見学)=室生寺・室生
- 第4日 室生=合歓の郷(半日・自由行動)
- 第5日 合歓の郷~英虞湾めぐり~賢島=二見ガ浦=伊勢神宮=宇治山田=名古屋-東京



建築科

(伊勢・奈良の古社寺研究)



機械科

(中国・四国一周)

(日程)

- 第1日 東京-広島(平和公園)=広島港~松山港=奥道後
- 第2日 奥道後=松山城=宇和島=足摺岬
- 第3日 足摺岬=竜串(海中展望塔)=土佐中村=桂浜=高知
- 第4日 高知=龍河洞=大歩危・小歩危=琴平=高松
- 第5日 高松=屋島=栗林公園=高松港~宇野港=岡山-東京



冬の体育実技の一環として本校スキーハウスを利用して第一学年で実施。

はじめてスキーを体験する者も帰る頃にはスキーの醍醐味を覚え、卒業後もハウスを訪れる卒業生が多い。

なお、昭和五十三年度からは同じ新潟県の越後中里スキー場で三泊四日で実施している。



スキーハウス（収容人員六〇名）所在地 新潟県南魚沼郡六日町余川

校外行事のあゆみと現況

林間学校

昭和三十七年七月二十五日、長野県南佐久郡八千穂村に林間学校八千穂山荘が完成し、落成式が挙行されたのである。七月三十一日、第一陣が両国駅前を専用バスで出発してから、過去十七年間、毎年第一学期の終了式がすむと林間学校が開校されて来たのである。

林間学校の目的は、団体生活を通じて集団の一員としての自覚を高め、規律正しい生活を通して狭い都会の生活から脱出し、広大な自然の懐で、颯爽とした大気の下で心身の鍛練をし、教師および級友との親和を深めることにある。

林間学校開設当初は二泊三日の日程で、ハイキング、ソフトボール、演芸会等が主な内容で、ハイキングは第二日目の午前中に約十キロの山道を歩いたのである。雄大な浅間山、澄ん空、野鳥の声、冷たい清水等々自然を十分に満喫して山荘に帰り、午後は山荘前のグラウンドで伸び伸びとソフトボールのクラス対抗試合が二面で行なわれたのである。そして、夕食後の一



スキーの準備



みごとにしりもち



こわごとと滑る



旺盛な食欲

時を各クラス、各班の出し物による演芸会、歌や落語等々。第三日は午前中にソフトボール決勝屋食後、大清掃、帰京というスケジュールであった。昭和三十八年度の林間学校から内容のあるものにすべく、キャンプ生活が加わり三泊四日の日程になった。キャンプ生活は、八千穂山荘より西北約十キロの所に駒出池、池の平キャンプ場があり、テントを借用しての生活がより楽しい又苦しい思い出多い林間学校に変わったのである。

キャンプ生活 各班に飯盒（二人で一個）、米、罐詰を配給、その他各テントにランタン、かとり線香、ロウソク、懐中電灯、タワシを各々一個、責任者に渡す。持ちなれない包丁、超大釜での百二十余名分のカレー作り、又朝のみそ汁作り、オカニが出来たり、オコゲが出来たり各テントは歓声やためいきがもれた。食事後の食器洗い等後かたづけ。そして夜はキャンプファイヤーを囲んで楽しんだのである。そして三年後にはテント

を新調し、生徒の手でテントの設営、後かたづけ等々充実した林間学校が昭和四十八年まで続けられたのである。だがこの自然の中にも人の波がキャンプ地を俗化させ、水場、トイレ等種々の困難がおこり山道は舗装されて車がおしよせ、生徒のキャンプ地として再検討すべき事態となり、ついに昭和四十九年度にキャンプ生活を中止、二泊三日、開設当初の林間学校に逆もどりしてしまつたのである。

昭和五十三年度からキャンプ生活の一端でも経験させようと山荘裏山で飯盒炊きを実施、生徒の反応もよく、楽しい林間学校が終了したのである。

八千穂林間学校日程及び日課
第一日 千駄谷発 午前八時（専用バス）
首都高速―中央高速道―長門（平越）
八千穂山荘着 午後十二時三〇分着
諸注意（食堂）午後一時 演劇と演習
集合（グラウンド）午後二時
ランニング、体操、フットボール
ストレッチング
夕食 午後六時三〇分
消灯・就寝 八時三〇分